

「野洲の元気と安心」を伸ばす

平成26年度予算が決まりました！

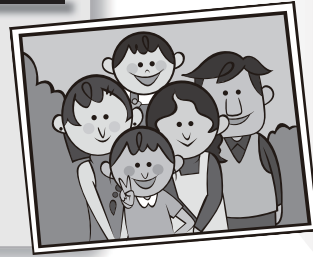
市の総合計画に掲げる都市像「豊かな自然と歴史に恵まれたにぎわいとやすらぎのあるまち〜みんなが住みたい、住み続けたいと実感できるまちづくり」の実現に向け、6つの「まちづくりの基本目標」のもとに各事業に取り組み、豊かな環境と安全で活力あるまちづくりを進めていきます。

◆問い合わせ  
財政課  
☎ 587 - 6069  
FAX 586 - 2200

総額328億6,752万3千円

◆会計別予算規模

一般会計	191 億 6,000 万円
特別会計	126 億 635 万 2 千円
水道事業会計	11 億 117 万 1 千円



☆豊かな人間性を  
はぐくむまち

安心して子どもを生み育てることができるよう、前年度から引き続き「子ども子育て支援事業計画」を策定します。

幼稚園と保育園の一元化によることも園の整備により、耐震化での安全の確保や定員増による待機児童の解消をめざします。

学校の学習環境では、特別支援教育や不登校児童・生徒の支援を充実します。不登校など、特別な教育的支援を必要とする児童・生徒には、それぞれの特性に応じてきめ細やかに指導します。

☆人とひとが支え合う  
安心なまち

本市の地域医療サービスの継続に向けた中核的医療拠点として、(仮称)野洲市立病院を整備するための計画を策定します。

防火・防災対策では、北野分団の発足に向け、旧防災セン



☆地域を支える  
活力を生むまち

ターを活用した分団詰所の整備や消防団ポンプ車輛の配備を行い、地域の消防活動の核となる消防団を充実・強化します。

市民生活相談では、生活困窮状態に陥っている人を対象に就労支援や家計相談支援を行うなど、市役所の総合力で相談者の発見、生活支援を実施します。

ものづくりにおける高度な知識や技能をもったベテランの人材を経営改善のインストラクターとして養成するため、東京大学ものづくり経営研究センターの支援を受け、ものづくり人材養成スクールを引き続き開校します。これにより、市内の企業をはじめ経営改善に取り組む企業を支援します。

農林漁業の振興では、担い手を育成するため、農業用機械導入や施設設置にあたり、事業費



☆美しい国土を  
守り育てるまち

新クリーンセンターの平成28年度操業開始に向けて、前年度に引き続き用地造成工事を実施するとともに、施設本体建設工事を進めます。

☆うらおいとにぎわいのある快適なまち

前年度から引き続き、本市と近江八幡市、竜王町と共同で篠原駅周辺都市基盤整備として、自由通路や駅前広場等の整備工事に取り組みます。

野洲駅北口広場における、歩行者の安全性の確保や車両交通の混雑解消のため、横断歩道橋等を整備します。

交通安全施設整備事業では、通学児童をはじめとする歩行者等の安全を確保し、道路安全施設等の適正な維持管理と整備により、交通事故の減少、注意喚起を図ります。

☆市民と行政が  
ともにつくるまち

本年10月に市制施行10周年を迎えるにあたり、記念事業を実施します。

また、野洲市総合行政システムの更新を平成24〜26年度を第1期、平成27〜29年度を第2期として実施します。

◎施策・事業の財源

主な財源となる市税は、約86億8500万円、前年度当初予算費で約9億7500万円の増収見込み(12.6%増)です。景気の緩やかな回復傾向により、法人市民税が約8億5700万円の増収見込みである影響が大きくなっています。また、固定資産税が約1億5400万円の増収見込みですが、個人市民税では約1600万円の減収見込みとなっています。

地方交付税は24億3000万円の見込みで、前年度当初予算比で1億9000万円減の予算となっています。

繰入金は、公共施設等整備基金から1億円、市営住宅整備基金から4500万円、地域振興基金から5000万円を繰り入れて対応しています。

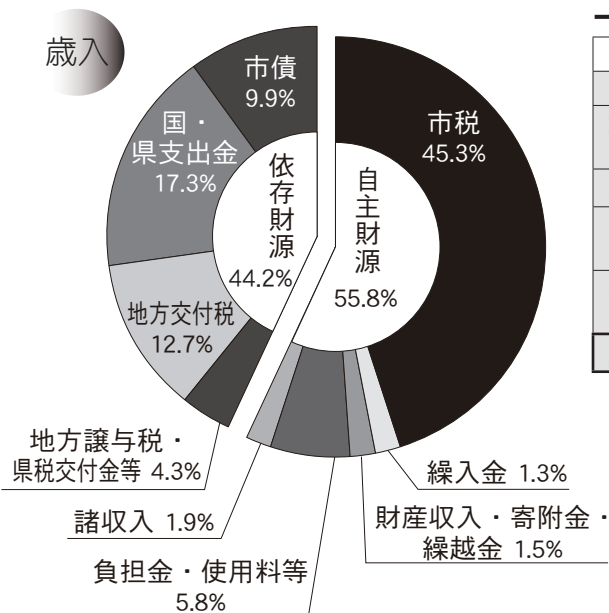
なお、市債は前年度当初に比べ6億3300万円の減となり、約18億9800万円となりました。

引き続き、市民の皆さんの積極的な参加をいただきながら、徹底した透明化と建設的な政策づくり、そしてその実現による新しい形のまちづくりを進めます。

一般会計（科目別）内訳

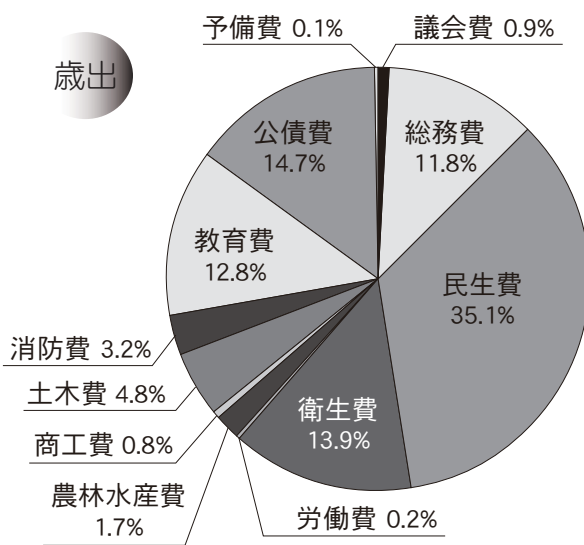
一般会計予算額（歳入）

依存財源		自主財源	
科目	金額	科目	金額
地方譲与税・県税交付金等	8 億 1,480 万円	市 税	86 億 8,470 万 6 千円
地方交付税	24 億 3,000 万円	繰入金	2 億 5,775 万 3 千円
国・県支出金	33 億 824 万 6 千円	財産収入・寄附金・繰越金	2 億 9,057 万 6 千円
市 債	18 億 9,840 万円	負担金・使用料等	11 億 299 万 5 千円
<b>歳入合計</b>	<b>191 億 6,000 万円</b>	諸収入	3 億 7,252 万 4 千円



一般会計予算額（歳出）

科目	金額	科目	金額
議会費	1 億 8,186 万 4 千円	土木費	9 億 2,041 万 3 千円
総務費	22 億 5,161 万 6 千円	消防費	6 億 1,748 万 2 千円
民生費	67 億 2,955 万 3 千円	教育費	24 億 5,766 万 7 千円
衛生費	26 億 5,667 万 8 千円	公債費	28 億 1,470 万 6 千円
労働費	4,540 万 9 千円	予備費	1,000 万円
農林水産業費	3 億 2,242 万 2 千円	<b>歳出合計</b>	<b>191 億 6,000 万円</b>
商工費	1 億 5,219 万円		



◎会計別予算総括表

●会計	平成 26 年度予算	平成 25 年度予算	増減率
●一般会計	191 億 6,000 万円	196 億 5,800 万円	△ 2.5%
●特別会計			
国民健康保険事業	48 億 1,236 万円	47 億 3,859 万 3 千円	1.6%
後期高齢者医療	4 億 5,868 万 3 千円	4 億 1,820 万 7 千円	9.7%
介護保険事業	34 億 9,776 万 1 千円	30 億 5,574 万 3 千円	14.5%
地域医療振興資金貸付事業	5,680 万円	3,910 万円	45.3%
下水道事業	19 億 7,219 万 1 千円	19 億 4,978 万 4 千円	1.1%
墓地公園事業	1,059 万 3 千円	2,590 万 4 千円	△ 59.1%
基幹水利施設管理事業	1,342 万 7 千円	1,305 万 5 千円	2.8%
工業団地等整備事業	17 億 7,328 万 7 千円	18 億 9,008 万 7 千円	△ 6.2%
土地取得	1,125 万円	1,125 万円	0.0%
●公営企業会計			
水道事業会計	11 億 117 万 1 千円	13 億 6,098 万円	△ 19.1%

# 平成26年度の主な事業を総合計画に掲げる 6つの「まちづくりの基本目標」ごとに紹介します

## 1 豊かな人間性をはぐくむまち

### ●子ども・子育て支援事業計画・継続 (319万5千円)

すべての子どもの良質な成育環境を保証し、子ども・子育て家庭を社会全体で支援することを目的として、前年度実施した子ども・子育て支援施策の把握や評価、ニーズ調査の結果を反映した事業計画を策定します。

### ●公立こども園施設整備・継続【重点事業】 (9756万5千円)

(仮称) 野洲第1こども園の開園に向けて、用地の造成と園舎の設計等に取り組みます。

園舎建築実施設計……………2250万円

造成等工事……………7506万5千円

### ●児童手当の支給・継続 (9億7225万5千円)

《支給額》

3歳未満……………1万5千円

3歳以上小学校修了前……………第1・2子／1万円、第3子以降／1万5千円

中学生……………1万円

所得制限世帯……………5千円

### ●学童保育所運営費・継続 (3億626万円)

野洲市社会福祉協議会へこどもの家の運営を委託し、安心・安全なこどもの居場所づくりを行います。

### ●特別支援教育の充実、不登校対策・継続【重点事業】 (4895万4千円)

《特別支援教育の充実》 障がいのある児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行うため、コーディネーター加配や支援員の配置、巡回相談員の派遣等を行います。

《不登校児童および生徒への支援》 不登校児童・生徒を支援するため、心のオアシス相談員やスクーリング・ケアサポーターを学校に派遣して、不登校の未然防止や支援の充実を図ります。

また、不登校児童・生徒の学校復帰をめざして、ふれあい教育相談センターで適応指導教室やこころの教育相談を実施します。



## 2 人とひとが支え合う安心なまち

### ●扶助費・継続

障がい者自立支援費……………7億4817万4千円

福祉医療助成費……………3億5331万6千円

生活保護費……………4億42万8千円

### ●(仮称)野洲市立病院整備基本計画策定・継続【重点事業】 (2098万円)

本市の地域医療サービスの継続に向けた中核的医療拠点として、(仮称)野洲市立病院を整備するための計画を策定します。

### ●(仮称)健康ウォークやす実践プログラム事業・新規 (20万円)

健康・出会い・発見をキーワードに、年齢を問わずだれもが気軽にウォーキングを楽しめるプログラムを設定し、広く市民へ情報提供することにより、日常的な健康づくりにつなげます。

### ●相談支援の充実・継続 (2233万7千円)

障がい者相談支援に求められる多様性と専門性に対応するため、身体障がい者、知的障がい者および精神障がい者の相談支援業務を民間事業所に委託し、支援の拡大と機能強化を図ります。

### ●保健事業費(各種検診等)・継続 (3109万3千円)

生涯にわたり健康を維持できるよう健康相談、健康教育、がん検診、訪問指導等を実施します。なお、乳がん・子宮がん・大腸がん検診の無料クーポン券配布は平成26年度も継続します。

### ●臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金

新規 (2億1332万2千円)

消費税率の引き上げによる負担増を考慮して、低所得者や子育て世帯への影響を緩和するとともに、消費を下支えする観点から、暫定的・臨時的に給付金を支給します。

臨時福祉給付金……………1億5300万円

子育て世帯臨時特例給付金……………6032万2千円





### 3 地域を支える活力を生むまち

●野洲・ものづくりインストラクター養成スクール…継続【重点事業】  
(283万8千円)

東京大学ものづくり経営研究センターの支援のもと、ものづくりにおける高度な知識、技能を持つベテランの人材を経営改善のインストラクターとして育成するためのスクールを引き続き開校します。

●人・農地プラン推進事業…継続(338万円)

地域で集落の農業の将来について協議し、今後の方向性を定めます。すでに設立されている集落営農組織について、経営安定化を支援します。

●青年就農給付金…継続(1500万円)

将来の地域農業を支える担い手育成の一環として、就農意欲のある青年層を対象に市内での新規就農を支援します。

●中小企業利子補給金…継続(60万7千円)

市内で営業する中小企業が市の定める融資制度を利用した場合、その支払利息の一部を補給します。

●野洲川大花火大会…継続(200万円)

野洲川大花火大会を開催します。なお、昨年引き続き当日は、昼間にもイベントの開催を計画しています。



野洲川大花火大会

### 4 美しい風土を守り育てるまち

●新クリーンセンター施設整備…継続【重点事業】  
(9億4926万1千円)

新クリーンセンターの平成28年度操業開始に向けて、昨年度に引き続き用地造成工事を実施するとともに、施設本体建設工事を進めます。

造成工事関連……………4億1095万7千円  
建設工事関連……………5億3830万4千円

●屋外広告物条例ガイドライン作成事業…新規(25万円)

野洲市景観形成方針を踏まえた、市独自のまちなみを創出し魅力ある良好な景観を誘導するため、ガイドラインを作成します。



新クリーンセンターイメージ

### 5 うるおいとにぎわいのある快適なまち

●篠原駅周辺都市基盤整備…継続【重点事業】(1億1356万2千円)

本市と近江八幡市、竜王町の2市1町でJR篠原駅周辺整備事業に取り組んでおり、自由通路や駅前広場等の整備工事を推進します。

●コミュニティバス運行費…継続(3652万8千円)

公共交通機関の一つであるコミュニティバスをきめ細かく運行することにより、地域住民の移動手段を確保します。

●雨水対策事業…継続【重点事業】(1億2509万円)

祇王井川第2排水区域の頻繁な浸水被害を解消するため、雨水幹線を整備し、浸水被害を軽減します。

●野洲駅周辺都市基盤整備…継続【重点事業】(1058万3千円)

JR野洲駅周辺のにぎわいの創出と安心・安全のため、野洲駅北口広場を整備します。

●下水道事業の地方公営企業法適化(下水道事業特別会計)…新規(1773万4千円)

下水道事業の経営基盤を強化し、長期的に安定した経営を持続していくため、企業会計を導入(地方公営企業法適用)します。平成29年4月1日完全移行。



篠原駅駅舎イメージ

### 6 市民と行政がともにつくるまち

●市制施行10周年記念事業…新規(78万3千円)

10月に市制施行10周年を迎えるにあたり、これまでの市のあゆみを振り返ることにより、これからのまちづくりへのさらなる市民参加につなげることを目的として記念事業を実施します。

●野洲市総合行政システム再構築事業…継続【重点事業】(1億3235万2千円)

システムの更新を実施します。平成24～26年度を第1期としており、新基幹系システムの稼動と新財務会計システムの本稼動を計画しています。

